

令和5年度 第7回 豊田市猿投台地域会議 会議録

開催日時	令和5年10月19日(木)	開会	閉会
		午後7時00分	午後7時40分
会場	猿投台交流館1階 多目的ホール		
出席者	地域会議委員：18人		
	会長：宇野 晃 副会長：近藤 鈴男		
	委員：生田 隆広	伊藤 正史	岡本 正巳 河合 好金
	呉山 永石	清水 有樹	須藤 尊久 塚田 芳司
	塚本 政幸	丹羽 知恵子	原田 千枝美 伴 耕治
	藤井 修	藤中 佐織	本多 謙二 山口 五郎
欠席者	2名 (伊藤 昌明 中尾 秀行)		
傍聴者	0名		
事務局	猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、古橋主査		
内容	1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問について 4. 提言書(案)に関する協議について 5. 地域会議だより12月号について 6. わくわく事業現場訪問について 7. 情報共有・事務連絡		

■議事(要約)

3 「第9次豊田市総合計画」に関する諮問

- ・答申書(案)について、事務局が加筆した部分を確認(資料1頁)
- ・答申書に添付する意見・提案に関し、委員からの意見・提案を事務局で整理した内容を確認(資料2頁)

このうち、「その他」の部分は答申書に添付する意見・提案から除くことを提案。

結論：提案のとおりでよい。最終的な表現等については事務局に一任する。

質疑等：都市構造について、「買い物が困難である高齢者に対してドローンを活用」とあるが、高齢者にどうやってドローンを活用してもらうか。高齢者には難しいのでは。徳島市のように地域住民が中心となって運営する地域自主運行バスなどもあるので、ドローンに限定せずに一例として出したらどうか。

回答：ドローン一つに限定せずに、「例えば、ドローンやバスなどを活用した運送支援、移動支援」といった表現に修正する。

4 提言書（案）に関する協議

提言書（案）について、これまでの会議で出た意見を踏まえて、事務局で修正した内容について確認（当日資料）

結 論：質疑、意見特になし。これを提言とすることを承認する。この提言を基に令和7年度以降の事業内容を検討していく。

5 地域会議だより12月号

結 論：事務局案について承認

質疑等：令和6年度のわくわく事業の審査日時は、午後と限定する表記は不要では。

回 答：審査実施時間については、現時点では未定であるが午後に想定しているため、このような表記としてある。日にちのみの記載に変更するなど、記載方法は調整する。

6 わくわく事業現場訪問

「前田公園愛護会」、「枝下町遺跡調査隊」の活動について、訪問した委員から報告

7 情報共有・事務連絡

「続・枝下用水日記」を委員に配布

(次回の予定)

日時：令和5年11月16日（木） 午後7時から

場所：猿投台交流館1階 多目的ホール

内容：諮問答申の協議、提言に関する協議

答申書の修正状況等により中止または書面開催の可能性あり。いずれの場合でも文書により通知を行う。